

企業経営動向調査（2015年度第4回〈16年1月調査〉）結果

調査概要

○調査対象	550社	○資本金別	
有効回答数	160社	●5000万円以下	80社
回収率	29.1%	●5000万円超～1億円以下	42社
○業種内訳		●1億円超～3億円以下	8社
●内製造業	82社	●3億円超	30社
●内非製造業	78社		

企業経営動向調査結果

I. 景況判断 (DI=「上昇」-「下降」)

1. 国内景気 DI		15年10月	16年1月	○国内景気は、最近、先行きともに前回調査比悪化。景気の最近、先行きともに厳しい見方が増えている。
最近	全社	-4	-16	
	内製造業	-8	-14	
	内非製造業	0	-19	
先行き (6カ月先)	全社	-2	-16	
	内製造業	-2	-17	
	内非製造業	-3	-15	

2. 業界の景気 DI		15年10月	16年1月	○業界の景気は、前回調査比、製造業、非製造業ともに著変はみられず、最近、先行きとも概ね横ばいで推移するも、依然として厳しい見方は多くなっている。
最近	全社	-16	-18	
	内製造業	-26	-20	
	内非製造業	-7	-15	
先行き (6カ月先)	全社	-17	-16	
	内製造業	-20	-24	
	内非製造業	-14	-7	

3. 自社の業況 DI		15年10月	16年1月	○自社の業況は、前回調査比、最近、先行きともに非製造業は横ばいでDIの水準はゼロ近傍となっている。一方、製造業「-8」と依然改善はみられない。
最近	全社	-3	-4	
	内製造業	-6	-8	
	内非製造業	-1	0	
先行き (6カ月先)	全社	-1	-5	
	内製造業	-2	-8	
	内非製造業	1	-1	

II-1. 経営動向（売上高）

（注）15/10-12月期、16/1-3月期の上段の（ ）内の数値は15年10月調査時の見通し

1. 売上高 DI （対前四半期比）	実 績		見 通 し		
	7-9	10-12	16/1-3	16/4-6	
全 社	14	(16) 16	(8) -7	0	<ul style="list-style-type: none"> ○10-12月期実績は、製造業、非製造業ともに前期比横ばいで推移。前回調査時の見通し通りに推移。 ○1-3月期の見通しについては、製造業、非製造業ともに悪化。特に非製造業ではDIが「-15」と厳しい見方となっている。4-6月期は製造業で横ばい、非製造業でゆるやかな改善を見込んでいる。
内 製 造 業	17	(14) 17	(13) 1	4	
内 非 製 造 業	12	(17) 16	(4) -15	4	

2. 経常利益 DI （対前四半期比）	実 績		見 通 し		
	7-9	10-12	16/1-3	16/4-6	
全 社	6	(24) 10	(3) -7	-3	<ul style="list-style-type: none"> ○10-12月期実績は、製造業で前回調査時の見通しを大幅に下回っている。 ○今後の見通しについては、1-3月期は非製造業大幅に悪化。また、4-6月期も改善はみられない。
内 製 造 業	7	(25) 3	(11) 1	1	
内 非 製 造 業	4	(23) 18	(-3) -16	-7	

III. その他

1. 製品の在庫水準 DI （「過大」 - 「不足」）		15年10月	16年1月	
最 近	全 社	10	9	<ul style="list-style-type: none"> ○最近のDIをみると製造業は横ばいで引続き過剰感があるものの、非製造業では過剰感は解消している。 ○先行きのDIをみると、最近比で製造業、非製造業ともに、さらに過剰感が低下し、非製造業ではDIは「-12」と在庫調整は終了し、不足感がたかまるとみている。
	内 製 造 業	17	17	
	内 非 製 造 業	4	0	
先 行 き （6カ月先）	全 社	-2	-3	
	内 製 造 業	5	5	
	内 非 製 造 業	-9	-12	

2. 生産・営業用設備 DI （「過剰」 - 「不足」）		15年10月	16年1月	
最 近	全 社	2	-1	<ul style="list-style-type: none"> ○最近のDIは前回調査比ほぼ横ばいで推移し、概ね適正水準と見込まれる。 ○また、先行きのDIは現状比製造業でやや過剰感が高まるものの、非製造業では逆にやや不足感が高まるものとみている。
	内 製 造 業	2	0	
	内 非 製 造 業	1	-1	
先 行 き （6カ月先）	全 社	2	0	
	内 製 造 業	6	4	
	内 非 製 造 業	-2	-4	

3. 雇用人員 DI (「過剰」 - 「不足」)		15年10月	16年1月	<p>○最近の DI は依然、非製造業で大幅不足の状況が継続。製造業はでも「-11」と不足感が拡大している。</p> <p>○先行き DI は現状比で製造業は「-11」と不足感が継続。非製造業では「-44」と不足感がさらに高まり、人材確保が極めて厳しい状況が続くものと見込まれる。</p>
最 近	全 社	-20	-25	
	内 製 造 業	-4	-11	
	内非製造業	-36	-40	
先 行 き (6カ月前)	全 社	-27	-27	
	内 製 造 業	-5	-11	
	内非製造業	-47	-44	

4. 資金繰り DI (「楽」 - 「厳しい」)		15年10月	16年1月	<p>○最近の DI は前回調査比でほぼ横ばいで推移し、資金繰り繁忙感はみられない。</p> <p>○先行き DI も現状比横ばいとなり、繁忙感は感じられない。</p>
最 近	全 社	6	9	
	内 製 造 業	2	8	
	内非製造業	10	11	
先 行 き (6カ月前)	全 社	8	4	
	内 製 造 業	5	3	
	内非製造業	11	6	

5. 販売価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		15年10月	16年1月	<p>○最近の DI は、前回調査比製造業は横ばいで推移。製造業では依然、下落するとの見方が多くなっているものの、非製造業は下落傾向が落ち着くとみている。</p> <p>○先行きの DI も前回調査比概ね横ばいで推移。製造業、非製造業ともに下落傾向が続くものと見ている。</p>
最 近	全 社	-10	-7	
	内 製 造 業	-14	-13	
	内非製造業	-7	-1	
先 行 き	全 社	-13	-12	
	内 製 造 業	-13	-17	
	内非製造業	-13	-7	

6. 仕入価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		15年10月	16年1月	<p>○最近並び先行きの DI は前回調査比とともに全社ベースで10ポイントを超える低下。特に製造業で20ポイント程度低下しており、仕入価格上昇に一服感の気配がうかがわれる。</p>
最 近	全 社	18	5	
	内 製 造 業	20	1	
	内非製造業	16	10	
先 行 き	全 社	23	9	
	内 製 造 業	28	9	
	内非製造業	17	9	